

昨年度からの引継事項

■実施による工夫

1. プレスリリースや記者会見後に報道機関が記事にした内容をさらにSNSで拡散します。
 2. 一問一答形式のほかにクロストーク形式を採用し、より深くパネリストの政策を理解していただきます。
- 今回の公開討論会では、テーマ 6 のフリーテーマに対し、クロストーク形式で行っていきます。フリーテーマでは立候補表明者の戦略的判断により、政策論争以外の部分に対する質問をすることも可といたします。(例：裏金問題などの政局的課題)
- ただし、個人を攻撃するなどといった、批判ではなく誹謗中傷にあたる質問はNGとなります。

■実施上の問題点

- ・日程が急だったこともあり、立候補表明者への参加依頼から討論会当日までの日がなく、すでに予定が埋まってしまっている方も多く、特に5区は参加者がなく中止となってしまいました。
- 急な解散で準備期間はありませんでしたが、優先順位の第一は日程の確定として、立候補表明者にいち早く情報を流し、予定を押さえていただく必要があると考えます。質問事項や会場が決まっていなくても、まずは出演者の確保を行い、討論会が成り立つようにする必要があります。
- ・クロス質問の受付終了後に受付を求める出演者がいましたが、公平性を保つ観点から受け付けませんでした。
- 議論を深めるという意味では、締切り後であっても差し込む意義はありますが、全ての出演者が同じ条件で開催することを堅持することで公平性、透明性が担保されることと、特定の候補者に便宜を図ったと捉えられる可能性が高いことから一切受け付けるべきではないという判断となりましたので共有いたします。
- ・今回はZoomでの開催となりましたが、発言時以外ミュートにさせていただき案内をし忘れてしまったため、スピーカービュー時に他の出演者が発言者として認識されてしまい、一部写り込むことになってしまいました。
- 画面の露出時間で出演者の間に不平等さが出てしまう要因となります。自分の発言中に他の出演者が写り込むことも、気にする出演者もいるかと考えられますので、後々のトラブルとならないように事前にミュートを徹底してください。